

第5回  
星城大学祭

星祭

10/28・29

# 情熱

~heart×soul~

CTURE WING I



## 研究発表



物理療法体験



メジャリング



フリーマーケット



体験形式の研究発表



革細工

### さまざまな理学療法 (PT) を体験

体育館の中はどのブースも長い列ができるほど大勢の方々さまざまな理学療法を体験されました。超音波を使って踵(かかと)の骨を調べる方法で測定する骨密度、日常生活ではなかなか測ることがない肺活量など、測定結果に一喜一憂する姿があらこちらで見られました。患者の視線を体験するために車椅子にも乗っていただき、日常生活の不便さや声がけの大切さ、バリアフリーの重要性を実感されたことと思います。

### 革細工で作業療法 (OT) の理解を深める

身体または精神に障害がある方に対して、機能の回復・維持・開発を日常活動の諸動作、仕事、遊びなど人間の生活全般に関わる諸活動を用いて行うのが作業療法です。星祭では、革細工を通して小物やアクセサリを作り、作業療法の世界を理解していただくために熱心に取り組んでいました。

ベストオブブース!  
「和食処長谷川」



ディスプレイも本格的和食のイメージとデザインが大変マッチしており、30を超える模擬店の中から今年の一番として投票により決定されました。

集まれ!  
元気っ子



グラウンドにひと際存在感をはなっていたのは、巨大な「ふわふわ」。子どもたちは夢中で飛び跳ね、笑い声が響き渡っていました。



学生会実行委員



今年も「星祭」は大成功

星祭は1年生から3年生まで15名の実行委員で企画から運営まで携わりました。第5回のテーマは「情熱～heart×soul～」。普段クールな人も、心の底から盛り上がり、アツくなってもらおうという意味を込めました。

準備期間は、6月19日のテーマ決めから始まり、各班に分かれて取り掛かりました。広告協賛集めは、今までに協賛いただいた企業やお店そして、学生が自ら作成した企画書を片手に新規開拓にも力を注ぎ結果、物品協賛を含め61軒を獲得することができました。ポスター作成や大学祭にお客さんをお呼びするための広報は「情宣」の役割です。他大学と協力し合って大学祭の宣伝を行う「広報提携プロジェクト『学祭レインボー』」にも初参加しました。参加大学は現在11校で合同ピラの作成・配布、今年は新たに「チャリティ花の種」にも取り組みました。これは、大学祭開催中にそれぞれの大学祭の中で行い、「募金をして種をもらい、花を育てる。集まったお金は植林活動(マングローブ植林行動計画)

に使われる」という企画で、本学は11大学中、初参加ながらも上位3位に入る勢いでした。

今年初めての企画として、「インターンシップの体験を語る」があり、多様な体験をリアルに語ったもので大変好評でした。子どもに人気だったのは「ゲリラミニゲーム」。最終日は「南海キャンディーズの山ちゃん」や「ロバート」のタレントライブが行われ、会場の人出も熱気も最高潮に達し、イベント担当の実行委員が企画から交渉まで全て行い、この成果にほっとした様子でした。

**実行委員よりメッセージ**  
実行委員のメンバーは、高校生活では経験できないような新しい出会いや他大学との関わり、実行委員ならではの体験を通じて充実した大学生活を送っています。「何より企画・運営する自分たちが楽しまなければ足を運んでいただくお客さんは楽しめない。来年は今年よりもっと楽しいものにしたい」と力強く語ってくれました。